

●今月の「ONLINE」情報●

デンキのお仕事 ～③ ミカド電機工業(前編)～

「目立たないけど重要な分野」を担当されている会社さんシリーズです。今回はミカド電機工業株式会社の澤田社長にお話を伺いました。

エコカーの普及で高性能のバッテリーが求められています

編集部：最初に御社について教えてください。

澤田：ひとことでお伝えすると「車の電気屋さん」です。取り扱いは自動車のバッテリー、カーナビ、ETC車載器などの卸販売、あとはスターターとかオルタネータなどのいわゆる電装品、そしてタクシーの料金メーターの販売と保守も行っています。当社は元々、創業者の祖父が大正15年に始めた会社です。



ミカド電機工業株式会社 澤田一幸社長

編集部：長い歴史の中で、特に最近変化を感じるようなことはありますか？

澤田：はい。実は車のバッテリーというのは、すでに完成された製品なんですけど、近年のエコカーの普及で、より高品質のものが求められるようになってきているんです。

編集部：エコカー（省燃費仕様車）とバッテリーにはどんな関係があるんですか？

澤田：最近の車は燃費をよくするためにオルタネータ（発電機）を止めたり動かしたり、細かい調節をするんですね。従来の車の場合、オルタネータがバッテリーを満充電してしまうと、それ以降の発電は余剰電力として無駄になります。また、常にエンジンと一緒に回転している状態も、当然、負荷になるんです。そこでオルタネータの動きを制御することにより燃費の改善を図っているのがエコカーで、そのシステムを採用している車を充電制御車と呼んでいます。

編集部：充電制御車・・・初めて聞きました。

澤田：バッテリーには充電受け入れ性能という指標があって、同じ時間で充電したときに、より高い充電ができるような性能を指すんですが、充電制御車の場合は、充電受け入れ性能が高いバッテリーじゃないと、充電がなかなかされないことがあるんです。

編集部：確かに充放電の頻度も増えますから、高品質なバッテリーが必要になりますよね。

低燃費を実現させるためには、車の特性に合わせた専用バッテリーが必要です

澤田：最近では、オルタネータだけでなく、エンジンを止めアイドリングをしない車が増えています。アイドリングストップ車と呼ばれていますが、近年発売される車の大半がそのようになっています。これにも専用のバッテリーが必要です。アイドリングストップ車に従来のバッテリーを装着することは厳禁です。アイドリングストップをしなくなることもあります。

編集部：そうなんですか！そういうことは、皆さん、ご存知なんですか？

澤田：知らないお客様もいらっしゃると思います。充電制御車やアイドリングストップ車は、交換の段階で希に普通のバッテリーを付けてしまうこともあるんですよ。ですから注意が必要です。アイドリングストップ車は信号待ちのたびに何十回、あるいは何百回とエンジンの停止と始動を繰り返すので、バッテリーにかかる負荷がものすごく大きいんです。だから性能のいい電池が必要なんです。

編集部：バッテリー交換と言えば、量販店に行って価格的にお手頃なものを選ぶ感覚でしたが…

澤田：最近の車は、昔よりもバッテリーの品質が問われるものが多いです。ハイブリッド車も同様で、ハイブリッドにはハイブリッド専用のバッテリーがあります。更には、自動車メーカーの設計思想から、欧州のEN規格バッテリーの採用も増え始めています。

編集部：車の低燃費を実現させるためには、その分、高機能のバッテリーが不可欠になってくるということなんですね。（つづく）

今月の雑学

三度目の正直だった仙台青葉まつりの歴史



仙台の青葉まつりは毎年5月、第3週目の土・日に開催されますが、もともとは仙台東照宮で江戸時代から行われた古い祭礼「仙台祭」がルーツで、秋に藩をあげて行われる東日本屈指の盛大なお祭として知られ、仙台藩主は代々この巡行を国分町西側で拝するのが慣例でした。

やがて明治7年に仙台藩主伊達政宗公を祀ってできた青葉神社（青葉区通町）が建立されると、仙台祭は青葉神社例祭となって受け継がれ、政宗公の命日である5月24日に行われるようになりました。しかし、祭りの継続を阻んだものは、なんと、当時普及し始めた電気の電線でした。それが巡行の障害となって祭りは明治32年に一度幕を閉じたのです。その後、1956（昭和31）年にまつりが復活したものの、交通事情により昭和40年に再び祭りは途絶え、現在はなんと3度目の復活だったんですね。

今ではすずめ踊りの祭連（まつら）も市内の各地域に増え、お祭り以外のイベントでも演技の機会が設けられるなど、活気と知名度と増している仙台青葉まつりですが、明治以降は中止と復活を繰り返してきた歴史があったようです。

今ではすずめ踊りの祭連（まつら）も市内の各地域に増え、お祭り以外のイベントでも演技の機会が設けられるなど、活気と知名度と増している仙台青葉まつりですが、明治以降は中止と復活を繰り返してきた歴史があったようです。

ミカド電装社員のおすすめ

ただいまワタシのお気に入り

音楽をヘッドフォンで聴く

（営業部 I さん / 女性）



音楽を1曲聴くだけで気分が変わったりすることがあります。Youtubeを見るとき、音楽を聴くとき、ついイヤフォンになりがちですが、ぜひヘッドフォンをおすすめしたいところです。ヘッドフォンだと

イヤフォンで聞こえてこなかった音がたくさん聞こえて、何倍もよく聞こえます。室内でも徒歩での散歩もよいですが、特に電車やバスで移動するときにおすすめで、景色やスピードと相乗効果でよいひとときになります。少し前には星野源ブームで、ふと、霧田気の似ているオザケン（小沢健二）を思い出して振り返ったり、ついでに「渋谷系」と言われていた周辺の音楽や、スエディッシュポップをききなおしました。最近の音楽ではSuchmos というバンドをよく聞いています。CMにも使われていて人気があり、いつかライブも見てみたいと思っています。音楽に対する感覚って、年をとってもあまり変わらないのではないかな？と思います。

編集部より

皆さん卒業旅行って行かれた事ありますか？

高校・大学卒業と卒業する時に友人や家族と行くようです。私の学生時代はあった？私が無いだけ？最近では中学生も卒業後に友人と東京ディズニーリゾート行くようです。

我が家でも卒業した息子が友達と大阪のユニバーサルジャパンに旅行に行っていました↑アルバイト代とお年玉全部使ったようです & 私以外の家族で北陸旅行も！贅沢ですよね！

留守番の私にはノドグロが美味しかったと土産話のみでしたチャンチャン♪
（佐々木佳奈）

仕事の小道具「相回転計」（検相器）

今回のミカドのワンポイント解説は仕事の小道具のご紹介。本日は「相回転計（そうかいてんけい）」です。相回転計は検相器とも呼ばれる機器で、三相誘導モーターを電源につないだときの回転方向の確認のために使います。三相誘導モーターは、三相交流電源で動作し、位相のずれた3つの波が時間的に変化する相対的な動きから回転力を得ます。しかし3本の線で端子が3つあるプレーカーにつなぐ場合、線の順番を間違えると回転の方向が変わり、モーターが動かないばかりでなく、故障やトラブルの原因にもなります。そのため、三相交流の現場で作業するときには、事前に相回転計



金属非接触式検相器 PD3129（日置製）



をプレーカーにつないで、R、S、Tと呼ばれる3つの線の正しい接続の順番を確認します。R、S、Tに深い意味はなく、ABC、やXYZのように、連続するアルファベットのの一部を、機械的に名付けたものが習慣化しているようです。ちなみに、一般的にRSTの緑色は赤白黒です。R (red) S (Shiro→白) T (その他) だと覚えやすい、とYahoo知恵袋に書いてありました。なるほど。

ミカド電装商事株式会社

TEL.022-256-8191 FAX.022-291-5403

〒984-0051 仙台市若林区新寺3丁目4-30

・ミカド電装 HP <http://www.mikado-d.co.jp/>

・大型リチウムイオン電池専用 HP <http://www.mikado-d.co.jp/cp/>

ミカド ONLINE

<http://www.mikado-d.co.jp/online/>

お届けした記事はネットでもご覧いただけます。

「ミカド ONLINE」で検索！！



編集：沢田元一郎・佐々木佳奈・笹崎久美子

※この配信サービスは無料です。※毎月1回の定期配信に加え、ミカド電装商事からのお知らせを不定期に配信する場合がありますので、あらかじめご了承ください。本レターの第三者への転送、Webサイトなどへの再掲載はお断りいたします。また「バックアップ」の著作権は、ミカド電装商事およびその情報提供者に帰属するため、掲載記事を許可なく転載することは禁じます。